
2021年度第3四半期決算 及び
2021年度業績見通し

説明資料

帝人株式会社

2022年2月7日

今回公表のポイント

- 経済回復に伴う販売増で3Q累計実績売上高は前年同期対比13%増の6,870億円となったが、半導体不足の深刻化、原燃料価格・物流費高騰および医療用ガウンの特需収束等で営業利益は16%減の382億円
- 通期業績見通し営業利益は前回見通し*1対比下方修正も、マテリアルでの大幅改善により4Q見通しは3Q対比改善を見込む

■3Q累計実績（営業利益・前年同期対比）

- ヘルスケアの好調な販売が寄与し、医療用ガウンの官需が収束した影響をほぼオフセット
- マテリアルは複合成形材料・アラミドの原燃料価格高騰影響やアラミドの工場停電による生産休止影響等により営業利益悪化

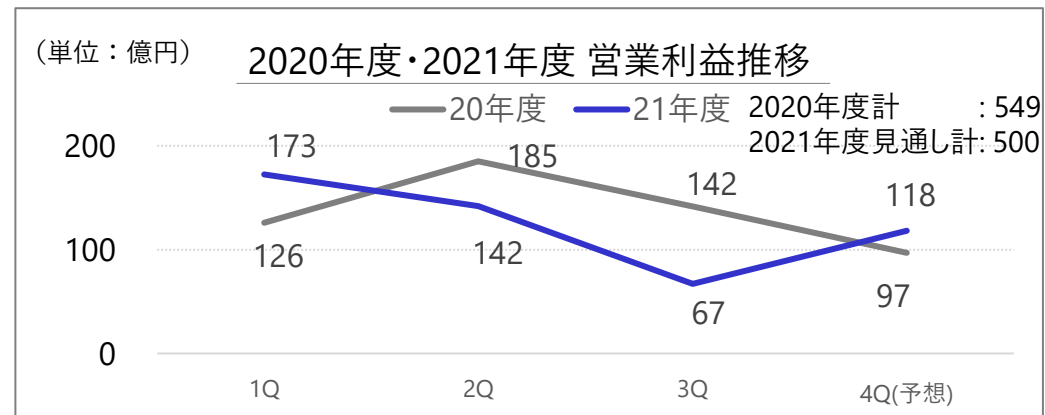
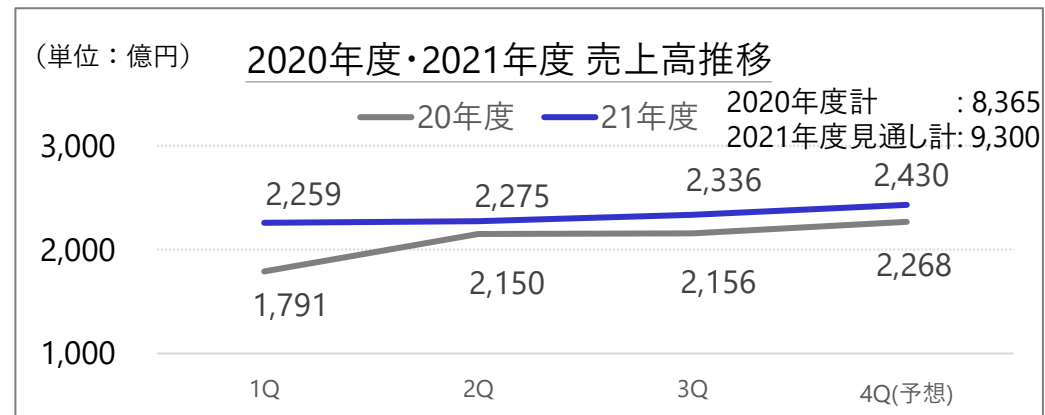
■通期業績見通し

- 前回見通し*1対比で、堅調な需要を考慮し売上高は上方修正するも、3Qでのマテリアルの利益悪化影響を踏まえ、営業利益は下方修正とし、前年度対比でも増収・減益を見込む
- 年間配当見通しは前回見通し*1を据え置き
(前年度対比5円増の55円/株、中間配当：27.5円)

通期業績予想

売上高 9,300億円、EBITDA 1,200億円、営業利益 500億円、当期純利益 320億円

*1 2021年11月8日公表



当社の主要ターゲット市場の前提（2021年度）

需要は全般的に堅調な状況が継続する見通し

事業	市場	主な地域	3Q累計実績	4Q見通し	
マ テ リ ア ル	アラミド	自動車	欧州 米国	•半導体不足の影響はあるも、タイヤ・ブレーキ・ホースの需要は大きく伸長	•3Qまでの堅調な状況が継続
		産業資材	欧州 米国	•光ファイバー用途をはじめ、19年レベルに回復。需要は高水準で安定	•引き続き需要は堅調に推移
	樹脂	事務機	アジア	•コロナ影響に加え、半導体不足もあり、事務機メーカーの稼働は減少	•半導体不足による顧客稼働減が継続
		自動車	日本、中国 アジア	•半導体不足影響および中国での電力制限の影響を受けて、顧客の稼働が減少	•半導体不足による顧客稼働減が継続
	炭素繊維	航空機	欧州 米国	•ワクチン接種が進んだ欧米では国内線を中心に回復傾向 •サプライチェーンも必要在庫確保の動きに移行 •貨物輸送需要は堅調	•サプライチェーンにおける需要回復は継続 •貨物輸送需要も引き続き堅調
	複合成形	自動車	米国、欧州 中国	•半導体不足の影響を受け、OEMでの生産制約が継続	•需要堅調な中、OEMでの生産制約は徐々に緩和

■ コスト前提

3Q累計において、各事業における原燃料および物流コスト上昇の影響が顕在化。4Qもコストの高止まりが継続する見通しであり、状況を注視
北米労働市場の逼迫は4Q以降若干緩和していく見込み

当社の主要ターゲット市場の前提（2021年度）

事業	市場	主な地域	3Q累計実績	4Q見通し
ヘルスケア	医薬品	日本	<ul style="list-style-type: none"> 痛風・高尿酸血症市場は拡大継続 COVID-19影響により病院では訪問規制が継続し、e-プロモーション強化が継続 	<ul style="list-style-type: none"> 3Qまでの傾向が継続
	在宅医療		<ul style="list-style-type: none"> 在宅酸素療法（HOT）市場では、入院抑制により在宅療養へのシフトが継続 在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）市場は拡大継続、検査数は緩やかな回復基調 	
繊維・製品	衣料繊維	欧米・中国 日本	<ul style="list-style-type: none"> 欧米・中国では消費が回復 COVID-19影響により国内市況は低迷するも、3QではCOVID-19影響緩和により回復傾向 	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19変異株の感染拡大状況に注視が必要
	産業資材	日本 中国	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途は回復基調であるが、半導体不足影響あり 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足影響は継続
	医療用防護具（ガウン等）	日本	<ul style="list-style-type: none"> 官需は収束 	—
IT	IT	日本	<ul style="list-style-type: none"> 電子コミックにおける海賊版サイトの影響が20年度4Q以降継続 	<ul style="list-style-type: none"> 海賊版サイトの影響は継続

-
-
1. 2021年度第3四半期決算 P. 5
 2. 2021年度業績見通し P.13
 3. 参考資料 P.22

見通しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。当資料に含まれている医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。

本資料は2022年2月7日午前11時30分に公表した弊社決算に基づくものです。

1. 2021年度第3四半期決算

◆ 実績ハイライト [前年同期対比]

- 売上高は、各セグメントでの経済回復に伴う販売増に加え、マテリアルでの原料価格高騰に対応した販売価格改定等もあり、12.7%増の大幅増収。COVID-19影響前の2019年度3Q累計実績を上回る結果
- 営業利益は、ヘルスケアにおいて糖尿病治療薬を含め販売が好調であったものの、繊維・製品で医療用ガウンの官需収束、2Qから顕在化した半導体不足の影響や原燃料価格・物流費の高騰および一部事業での生産休止影響等により、15.6%減の減益
- 四半期純利益は、持分法による投資利益の増加や投資有価証券売却益の計上等あるも、3.7%減の減益

親会社株主に帰属する

(単位：億円)

売上高

営業利益

四半期純利益

前年同期対比

+12.7%

-15.6%

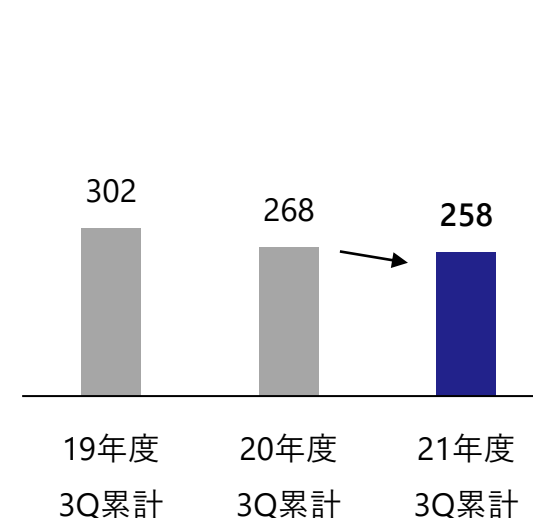
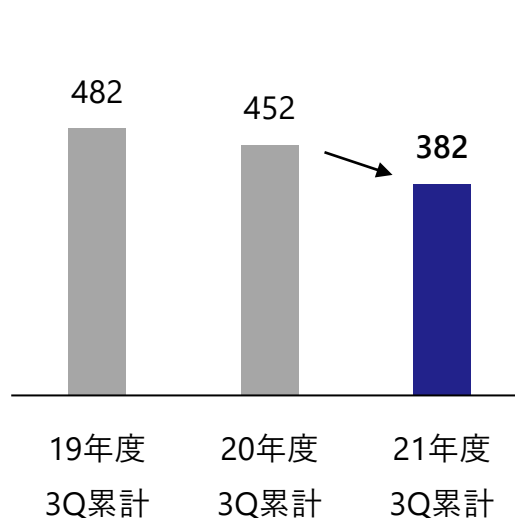
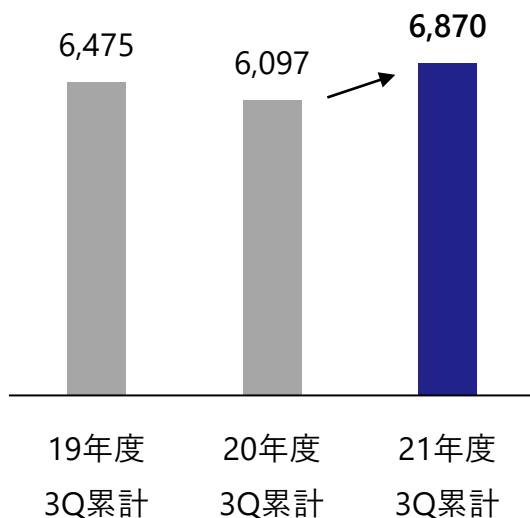
-3.7%

19年度3Q累計対比

+6.1%

-20.8%

-14.3%



◆ 実績サマリー [前年同期対比]

	(億円)				
	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期 との差異	増減率
売上高	6,475	6,097	6,870	+773	+12.7%
営業利益	482	452	382	-71	-15.6%
営業外損益	-8	-24	32	+55	-
経常利益	474	429	413	-15	-3.6%
特別損益	-35	8	22	+14	+168.2%
税金等調整前 四半期純利益	440	437	435	-2	-0.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	302	268	258	-10	-3.7%
ROE ^{*1}	9.7%	8.7%	8.2%	-0.5%	-
営業利益ROIC ^{*2}	9.7%	9.3%	6.4% ^{*3}	-2.9%	-
EBITDA ^{*4}	862	838	893	+54	+6.5%

*1 「親会社株主に帰属する四半期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出

(*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

*1, *2 は年換算後の数値

*3 期首の投下資本は糖尿病薬販売権等承継による増加を含めて算出

	(億円)				
	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期 との差異	増減率
設備投資 ^{*5} (設備投資 調整後※)	465	411	1,810	+1,399	+340.0%
減価償却費 ^{*6}	380	386	511	+125	+32.5%
研究開発費	246	227	223	-4	-2.0%

※糖尿病薬販売権等承継による無形固定資産増（1,324億円）を除く

◇ 為替・原油価格

		20年度	21年度
		3Q累計	3Q累計
PL換算レート	円/米ドル	106	111
	円/ユーロ	122	131
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)		39	72

*4 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

*5 設備投資には無形固定資産の取得を含む (M&Aは含まず)

*6 のれん償却含む

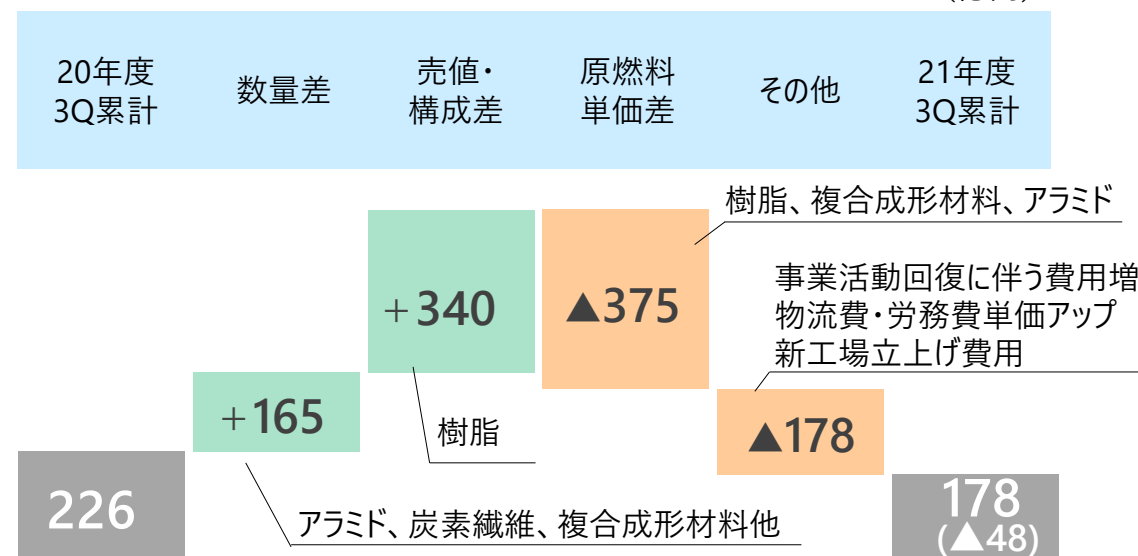
◆ マテリアルセグメント [前年同期対比]

(億円)

	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期 との差異
売上高	2,501	2,060	2,845	+786
EBITDA	347	226	178	-48
減価償却費	216	230	226	-4
営業利益	131	-3	-48	-45
営業利益ROIC	6%	-0%	-2%	-2%

< EBITDA増減内訳 >

(億円)



COVID-19影響からの需要回復により自動車用途や航空機用途を中心に販売量が増加。一方、半導体不足や原燃料価格・物流費高騰、一部事業の生産休止が収益に影響

■ アラミド繊維

- 自動車用途を中心に需要が回復し販売量が増加
- 大型定修とその期間延長及び原料工場停電による生産減や天然ガス価格上昇がコストに影響

■ 樹脂

- アセアン地域でのCOVID-19影響や半導体不足および中国での電力制限による顧客稼働減影響を受けたものの、経済回復に伴い販売量は前年並み
- BPA等の原料価格高騰影響を受けて、販売価格改定を進めた

■ 炭素繊維

- 航空機、風力発電、レクリエーションを含む用途全般において販売量が増加
- 中間材料開発や北米炭素繊維新工場立ち上げ準備を継続

■ 複合成形材料

- 米国自動車市場においてSUV・ピックアップトラックにも半導体不足影響が波及し、OEMの生産停止影響を受けた
- 原材料価格高騰が継続。米国での失業給付加算が9月末で終了したが労働需給逼迫状況は継続しており、従業員確保が依然として課題

■ 電池部材分野

- リチウムイオンバッテリー用セパレータがスマートフォンの新規顧客開拓や新規モデルへの採用などで販売量増
- コーティング技術供与先における電気自動車向けリチウムイオンバッテリー用セパレータ販売の進展に伴うライセンス対価受領開始

◆ ヘルスケアセグメント [前年同期対比]

(億円)

	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期 との差異
売上高	1,192	1,119	1,396	+277
EBITDA	381	348	579	+231
減価償却費	90	89	204	+115
営業利益	291	258	374	+116
営業利益ROIC	46%	43%	23%	-20%

< EBITDA増減内訳 >

(億円)

20年度 3Q累計	数量差	売値・ 構成差	その他	21年度 3Q累計

薬価改定影響

▲15

+16

+230

(+) ライセンス対価収入等
(-) 営業活動増による経費増

579

(+231)

348

国内+235 (糖尿病治療薬、「フェブリック」、
CPAP他)、海外▲5

主力製品である「フェブリック」の販売や在宅医療機器のレンタルは堅調。販売承継した糖尿病治療薬も順調に推移。ライセンス対価収入あり。

■ 医薬品

- 2型糖尿病治療剤 4 剤の販売が順調に推移
- 「フェブリック*1」や「ソマチュリン*2」の販売量は順調に拡大
- 2021年6月に下肢痙縮の効能追加承認を取得した「ゼオメイン*3」の販売量は堅調に拡大
- 2021年12月 米国メルク社よりアルツハイマー病治療薬候補の臨床試験開始に伴うライセンス対価収入を受領

■ 在宅医療

- HOT：COVID-19向け病床確保のための入院抑制・在宅療養へのシフトが継続し、レンタル台数が伸長
- CPAP：検査数は緩やかな回復基調にあり、レンタル台数増加が継続

■ ヘルスケア新事業

- 人工関節・吸収性骨接合材等の埋め込み型医療機器事業において、手術数の回復傾向に加え、新製品等が順調に伸長

*1 高尿酸血症・痛風治療剤

*2 先端巨大症・下垂体性巨人症/神経内分泌腫瘍/膵・消化管神経内分泌腫瘍治療剤。ソマチュリン®/Somatuline®は、Ipsen Pharma (仏) の登録商標です

*3 上肢・下肢痙縮治療剤

◆ 繊維・製品セグメント [前年同期対比]

(億円)

	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期 との差異
売上高	2,314	2,371	2,069	-302*
EBITDA	94	210	93	-117
減価償却費	52	47	48	+0
営業利益	42	163	45	-118
営業利益ROIC	4%	17%	5%	-12%

*日本基準における収益認識の新基準適用による減少を含む

◆ ITセグメント [前年同期対比]

(億円)

	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期 との差異
売上高	343	423	399	-24
EBITDA	61	75	77	+2
減価償却費	6	6	9	+3
営業利益	55	69	68	-1
営業利益ROIC	46%	58%	58%	+0%

■ 繊維・製品セグメント

- 産業資材分野：自動車関連部材、水処理フィルター向けポリエステル短繊維は好調。期間後半で半導体不足影響あり。
- 衣料繊維分野：欧米・中国向け素材・製品販売や重衣料の国内販売は回復傾向も、海外工場のロックダウンや原燃料・物流費高騰により、全般的に苦戦
- 医療用ガウンの官需は収束
- 事業の選択と集中による基礎収益力の底上げや、活動抑制により販管費減少

■ ITセグメント

- ITサービス分野はCOVID-19影響が残るものの堅調に推移。ネットビジネス分野は、電子コミックサービスにおける海賊版サイトの影響が継続したが、広告費最適化により収益を確保

■ その他 (株) ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング (J-TEC) 他

- 再生医療製品事業の自家培養表皮「ジェイス」、自家培養軟骨「ジャック」、自家培養角膜上皮「ネピック」に加え、研究開発支援事業の売上が拡大し、堅調に推移
- 2021年6月に製造販売承認を取得した自家培養口腔粘膜上皮「オキュラル*」が12月に保険収載
- 2021年11月に他家（同種）培養表皮の治験開始

*口腔粘膜上皮細胞を用いて角膜上皮幹細胞疲弊症を治療する、世界初の再生医療等製品

◆ 営業外損益 [前年同期対比]

	(億円)		
	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	差異
受取利息	5	3	-2
受取配当金	10	10	-0
持分法による投資利益	19	43	+25*
デリバティブ評価益	3	25	+22
その他	11	8	-2
営業外収益 計	48	90	+43
支払利息	21	24	+2
為替差損	15	14	-1
デリバティブ評価損	18	4	-14
その他	18	17	-0
営業外費用 計	72	59	-13
営業外損益 計	-24	32	+55

◆ 特別損益 [前年同期対比]

	(億円)		
	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	差異
固定資産売却益	18	1	-17
投資有価証券売却益	5	53	+49
段階取得に係る差益	20	-	-20
その他	0	2	+2
特別利益 計	43	56	+13
固定資産除売却損	7	13	+5
投資有価証券評価損	15	-	-15
減損損失	4	19	+14
その他	8	2	-5
特別損失 計	34	34	-0
特別損益 計	8	22	+14

*アラミドペーパー合併の業績好調等により持分法による投資利益増加

◆ 財政状態 [前年度末対比]

	(億円)			内 為替 換算影響
	21年 3月末	21年 12月末	差異	
総資産	10,411	11,757	+1,346	+121
負債	6,108	7,209	+1,102	+47
(内 有利子負債)	3,800	4,729	+928	+29
純資産	4,304	4,548	+244	+74
D/Eレシオ	0.94	1.10	+0.16	-
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*1}	-	0.96	-	-

◇ 総資産 増減内訳

	(億円)		
	21年 3月末	21年 12月末	差異
現預金等	1,702	1,304	-398
売上債権	1,810	1,938	+128
棚卸資産	1,410	1,591	+181
固定資産	3,613	4,970	+1,356 ^{*2}
投資有価証券	848	864	+16
その他	1,027	1,090	+63
総資産 計	10,411	11,757	+1,346

◆ キャッシュ・フローの状況 [前年同期対比]

	(億円)		
	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	差異
営業活動	687	638	-49
投資活動	-493	-1,798	-1,305 ^{*2}
フリー・キャッシュ・フロー	194	-1,160	-1,354
財務活動他	-247	762	+1,009
現金及び現金同等物増減	-53	-398	-345

* キャッシュ・フローについては金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外

◇ BS換算レート

	21年	21年
	3月末	12月末
円/米ドル	111	115
円/ユーロ	130	131

*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

*2 糖尿病薬販売権等承継 (無形固定資産増 (1,324億円)) 等

2. 2021年度業績見通し

◆ 通期業績見通しハイライト [前年度対比・前回見通し*対比]

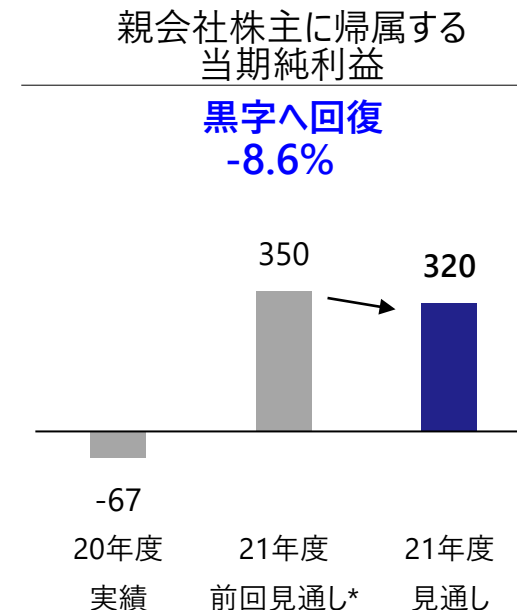
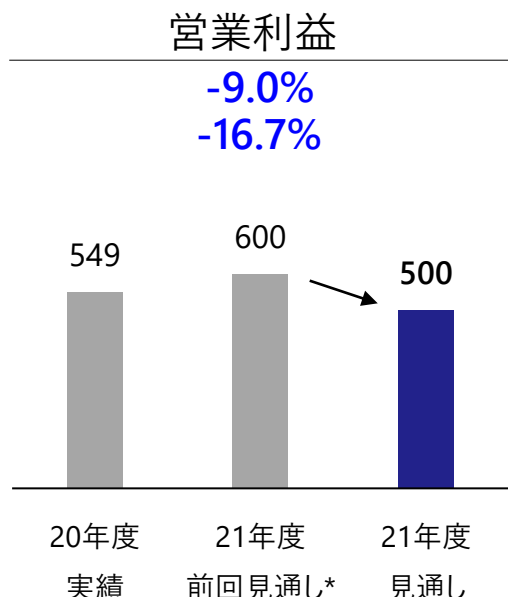
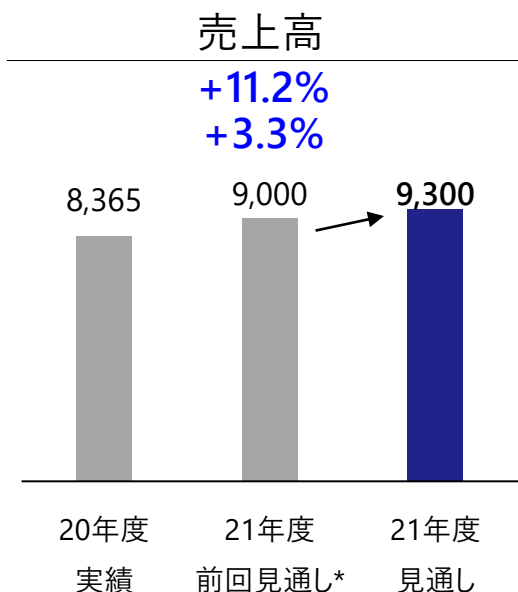
【前年度対比】

- COVID-19からの回復や糖尿病治療薬販売承継効果等あり増収も、マテリアルにおけるコスト増影響や半導体不足の影響、繊維・製品における医療用ガウンの官需の収束等で減益の見通し

【前回見通し*対比】

- ヘルスケアは堅調に推移見通しも、マテリアルの3Qにおいて想定以上の半導体不足や原燃料価格高騰影響、アラミド事業の工場停電による生産停止等の影響を受けた収益悪化を踏まえ、全社の通期業績見通しを下方修正
- 当期純利益も営業利益修正を受けて下方修正とするが、2021年度年間配当金見通しは変更なし

(単位：億円)

前年度対比
前回見通し*対比

前提条件

		20年度	21年度 前回見通し*	21年度 見通し
通期平均為替レート	円/米ドル	106	112	112
	円/ユーロ	124	132	130
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)		44	75	75

2021年度配当金見通し (前回見通し*から変更なし)

中間 27.5円/株 (決定), 期末 27.5円/株, 年間 55円/株
(20年度: 中間 25円/株 期末25円/株 年間50円/株)

◆ 通期業績見通しサマリー[前年度対比、前回見通し*対比]

	(億円)	20年度	21年度	差異	増減率	21年度	前回見通し	増減率
		実績	見通し			前回見通し*	との差異	
売上高		8,365	9,300 ^{*6}	+935	+11.2%	9,000 ^{*6}	+300	+3.3%
営業利益		549	500	-49	-9.0%	600	-100	-16.7%
経常利益		537	530	-7	-1.2%	600	-70	-11.7%
親会社株主に帰属する当期純利益		-67	320	+387	-	350	-30	-8.6%
ROE ^{*1}		-1.7%	8%	+10%		8%	0%	
営業利益ROIC ^{*2}		8.6%	6% ^{*7}	-3%		7% ^{*7}	-1%	
EBITDA ^{*3}		1,068	1,200	+132		1,300	-100	
フリー・キャッシュ・フロー		281	-1,200 ^{*8}	-1,481		-1,300 ^{*8}	+100	
設備投資 ^{*4}		603	2,100 ^{*8}	+1,497		2,100 ^{*8}	0	
減価償却費 ^{*5}		518	700	+182		700	0	
研究開発費		327	340	+13		340	0	

*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出（*投下資本＝純資産＋有利子負債－現金及び預金）

*3 「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出

*4 設備投資には無形固定資産の取得を含む（M&Aを含まず）

*5 のれん償却含む

*6 日本基準における収益認識の新基準適用による減少を含む

*7 期首の投下資本は糖尿病薬販売権等承継による増加を含めて算出

*8 糖尿病薬販売権等承継による無形固定資産増（1,324億円）を含む











◆ セグメント別 売上高・営業利益 [前年度対比、前回見通し*対比]

					(億円)	
	20年度 実績	21年度 見通し	差異	増減率	21年度 前回見通し*	前回見通し との差異
売上高						
マテリアル	2,970	3,900	+930	+31.3%	3,750	+150
ヘルスケア	1,487	1,850	+363	+24.4%	1,800	+50
繊維・製品	3,149	2,800 ^{*1}	-349	-11.1%	2,650 ^{*1}	+150
IT	581	550	-31	-5.4%	600	-50
その他	178	200	+22	+12.1%	200	0
合計	8,365	9,300 ^{*1}	+935	+11.2%	9,000 ^{*1}	+300

*1 日本基準における収益認識の新基準適用による減少を含む

					(億円)	
	20年度 実績	21年度 見通し	差異	増減率	21年度 前回見通し*	前回見通し との差異
営業利益						
マテリアル	10	-20	-30	-	80	-100
ヘルスケア	315	445	+130	+41.2%	420	+25
繊維・製品	175	60	-115	-65.7%	80	-20
IT	104	95	-9	-8.7%	100	-5
その他	-2	-20	-18	-	-20	0
消去又は全社	-52	-60	-8	-	-60	0
合計	549	500	-49	-9.0%	600	-100

営業利益見通しの方向感

	前年度対比	前回見通し*対比
全体	 営業減益の見通し	 営業利益下方修正
-マテリアル	 半導体不足や原燃料価格高騰、一部事業の生産休止	 原燃料価格の更なる高騰、半導体不足の影響拡大、一部事業の生産休止あり
-ヘルスケア	 主力既存製品の販売好調、糖尿病治療薬が順調	 さらなる主力既存製品の販売好調を見込む、3Qにライセンス対価収入あり
-繊維・製品	 医療用ガウンの反動	 衣料品の市況回復遅れ、中国の電力制限、原燃料・物流費の高騰等の影響見込む
-IT	 電子コミックの海賊版影響を、広告費最適化で相殺	 電子コミックが海賊版影響拡大を見込む

◆ マテリアルセグメント [前年同期対比、前回見通し*対比]

						(億円)		< EBITDA増減内訳 >				(億円)	
	20年度 実績	21年度見通し		年間差異	21年度 前回見通し*	前回見通し との差異	20年度 実績	数量差	スプレッド差	その他	21年度 見通し		
売上高		上期	下期				計						
高機能材料	2,104	1,396	1,354	2,750	+646	2,650	+100						
複合成形材料	866	512	638	1,150	+284	1,100	+50						
計	2,970	1,908	1,992	3,900	+930	3,750	+150						
EBITDA	315	180	125	305	-10	405	-100						
減価償却費	306	147	178	325	+19	325	0						
営業利益	10	33	-53	-20	-30	80	-100						
営業利益ROIC	0%	2%	-3%	-1%	-1%	3%	-4%						

20年度 実績	数量差	スプレッド差	その他	21年度 見通し
315	+180	▲25	▲165	305 (▲10)
	アラミド、複合成形材料、 炭素繊維		(+) 樹脂 (-) アラミド、複合成形材料 事業活動回復に伴う費用増他	

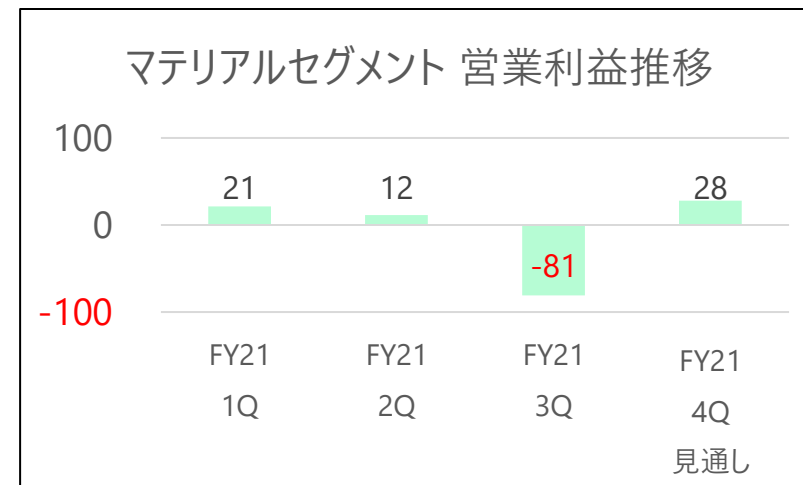
営業利益見通しの方向感

サブセグメント	前年度対比	前回見通し*対比 (主たる要因)
アラミド	 <ul style="list-style-type: none"> 大型定修とその期間延長影響あり。天然ガス価格高騰 原料工場の停電による生産減で在庫が逼迫 	 <ul style="list-style-type: none"> 天然ガス価格高騰 原料工場の停電による生産減で在庫が逼迫
樹脂	 <ul style="list-style-type: none"> 原料価格高騰に対し販売価格改定を進めた 半導体不足や中国の電力不足影響見込む 	 <ul style="list-style-type: none"> 半導体不足による顧客稼働減影響が想定よりも拡大
炭素繊維	 <ul style="list-style-type: none"> 航空機用途を中心に想定以上に販売が好調 	 <ul style="list-style-type: none"> 想定通り航空機用途中心に需要は堅調に推移
複合成形材料	 <ul style="list-style-type: none"> 半導体不足影響による自動車生産減に伴う需要減 原材料価格高騰が継続、販売価格改定を見込む 従業員確保が困難な状況が継続し労務費高止まり 	 <ul style="list-style-type: none"> 半導体不足影響が想定より拡大 原材料高騰影響は想定よりやや拡大 値上げ及び収益改善対策は4Qより発現の見込み

◆ マテリアルセグメント [営業利益四半期推移]

(億円)

- 3Qは原燃料価格の更なる高騰と半導体不足影響の拡大に加え、アラミドでの工場停電に伴う生産休止もあり急激に悪化
- 4Qは値上げおよび収益改善施策の効果発現に加え、3Qでの工場停電等一時的な損益悪化要因が解消することによる、収益の大幅な改善を見込む



営業利益四半期推移

サブセグメント	2Q 対 3Q		3Q 対 4Q見通し	
アラミド	➡	<ul style="list-style-type: none"> 天然ガス価格の更なる高騰 原料工場の停電による生産減で在庫が逼迫 	➡	<ul style="list-style-type: none"> 3Qで発生した原料工場の停電影響解消 燃料価格の更なる高騰を見込むが、値上げ効果も発現
樹脂	➡	<ul style="list-style-type: none"> 期首繰越在庫差の影響 半導体不足の拡大、中国の電力不足の影響 	➡	<ul style="list-style-type: none"> 原料価格の下落に伴い売値低下を見込む (スプレッドは維持) 期首繰越在庫差の影響が緩和
炭素繊維	➡	<ul style="list-style-type: none"> 北米新工場の試運転開始による立ち上げ費用および償却費増 	➡	<ul style="list-style-type: none"> 堅調な需要を背景とした増販 北米新工場の量産開始
複合成形材料	➡	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足影響の拡大 原材料価格の更なる高騰 従業員確保が困難な状況が継続し労務費高止まり 	➡	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足影響による顧客需要減が緩やかに回復 原材料価格高騰は継続 値上げ及び収益改善施策の効果が発現

◆ Teijin Automotive Technologies (US) 収益改善施策と進捗状況

外部環境の悪化	今後の見通し
原材料価格の高騰	高止まりの状況が少なくとも2022年度前半までは継続
半導体不足による顧客需要減	4Q以降徐々に解消に向かい、2022年度に主要プログラムの需要が正常化する見通し
政府の失業保険給付加算に伴う労働需給逼迫	緩やかではあるが、労働需給は緩和傾向、2022年度前半に工場必要人員を確保できる見通し

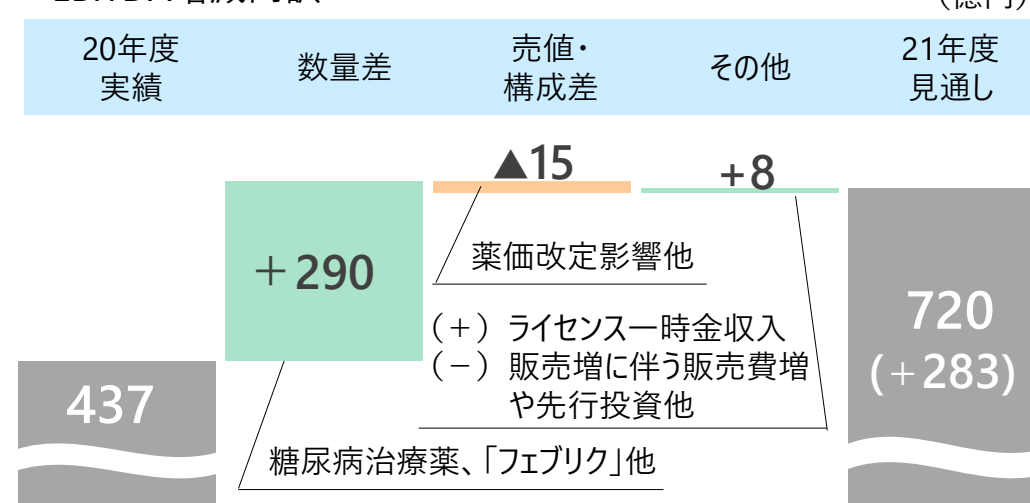
収益改善施策	効果発現の時間軸	進捗状況
値上げ（原材料価格の転嫁）	2021年度4Q	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度3Qにて、値上げ交渉が順調に妥結
好採算新プログラムの立ち上げ	2021年度4Q	<ul style="list-style-type: none"> テキサス新工場で好採算大型新プログラムの立ち上げ（2021年度4Qに本格稼働） 2022年度以降も好採算の新プログラム立ち上げを計画
プレス機自動化 （必要人員の削減*、生産性向上）	2021年度4Q （年間フル発現で約10億円の効果）	<ul style="list-style-type: none"> 主要工場にて導入、順次横展開を計画 テキサス新工場は自動化プレス機を導入済み、今後も新工場には自動化プレス機の導入を計画
塗装工程の内製化 （外注比コスト削減、品質・生産性向上）	2021年度4Q （年間フル発現で約10億円の効果）	<ul style="list-style-type: none"> 主要工場にて塗装ラインの内製化 順次横展開を計画

*プレス機直接人員の3～5割削減を想定

◆ ヘルスケアセグメント [前年同期対比、前回見通し*対比]

	20年度 実績	21年度見通し			年間差異	(億円)	
		上期	下期	計		21年度 前回見通し*	前回見通し との差異
売上高	1,487	907	943	1,850	+363	1,800	+50
EBITDA	437	375	345	720	+283	695	+25
減価償却費	122	136	139	275	+153	275	0
営業利益	315	240	205	445	+130	420	+25
営業利益ROIC	41%	21%	18%	20%	-21%	19%	+1%

< EBITDA増減内訳 >



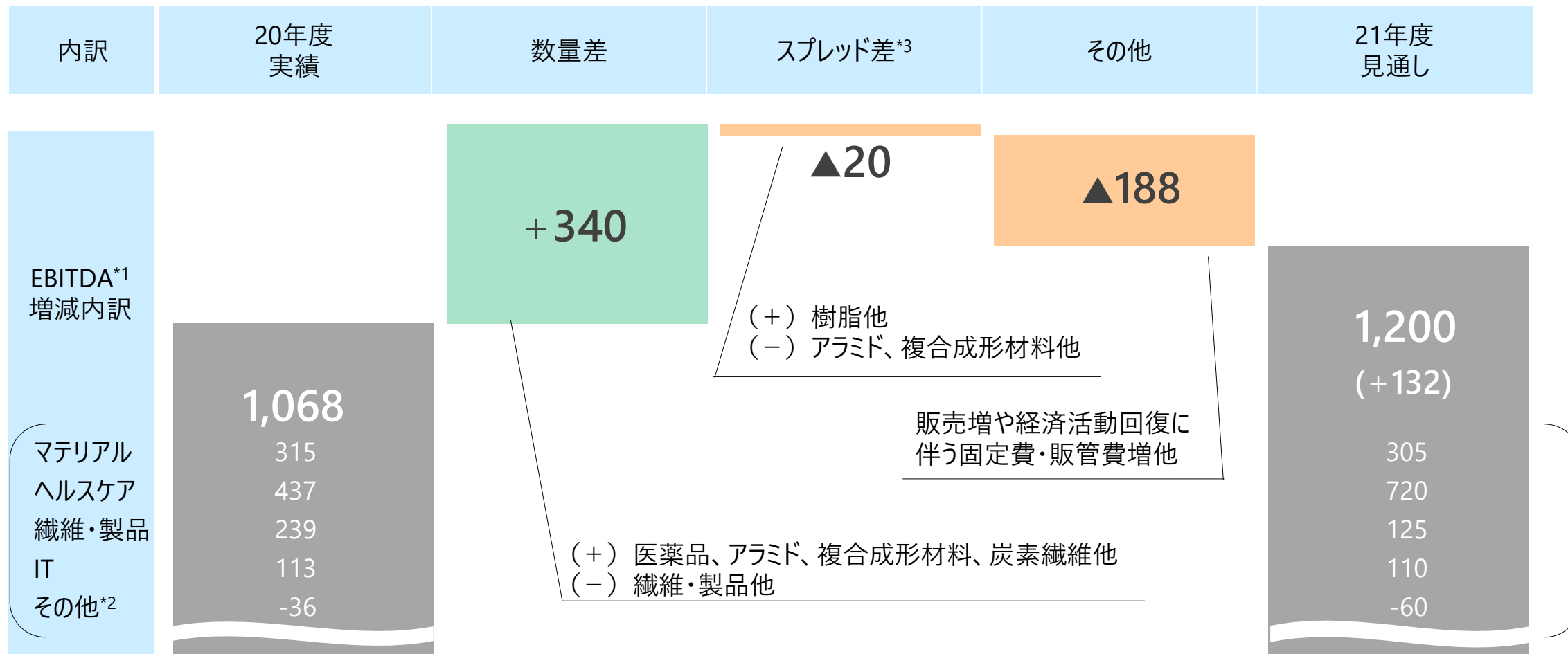
営業利益見通しの方向感

サブセグメント	前年度対比	前回見通し*対比 (主たる要因)
医薬・在宅医療	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病治療薬販売が貢献 「フェブリク」・「ソマチュリン」・HOT・CPAP数量増 	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> 「フェブリク」・「ゼオメイン」の好調が継続 3Qにライセンス対価収入あり 経費削減
新事業	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工股関節新製品等が順調に伸長 	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> 変化なし

2021年度業績見通し EBITDA増減要因（前年度対比）

- マテリアルの半導体不足影響、原燃料価格高騰等、繊維・製品の医療用ガウンの特需収束があったものの、ヘルスケアの糖尿病治療薬の貢献等により、EBITDAは増加を見込む

(億円)



*1 「営業利益 + 減価償却費（のれんを含む）」にて算出 *2 その他は「その他」および「消去又は全社」の合計としている *3 売値・構成差 + 原燃料単価差

3. 参考資料

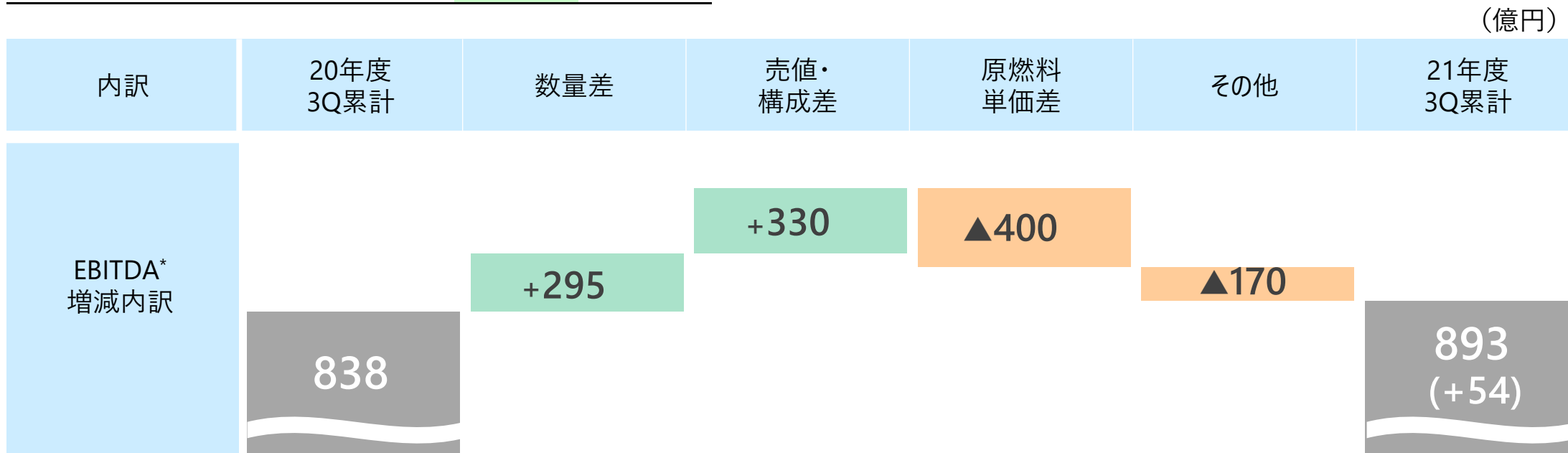
定常的な損益影響要因

セグメント	主な特徴
マテリアル	<ul style="list-style-type: none">アラミドは2021年度1Qに大型定修（3年に1度）樹脂は毎年2Q、3Qに定修
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none">4Qに経費集中傾向一時的なライセンス対価収入／支出
繊維・製品	<ul style="list-style-type: none">衣料関係は3Qが秋冬物・4Qが春物シーズン
IT	<ul style="list-style-type: none">2Q、4Qはシステム検収時期で納入増

◆ EBITDA*増減（連結合計） [前年同期対比]

（億円）

	19年度 3Q累計	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期 との差異
売上高	6,475	6,097	6,870	+773
EBITDA*	862	838	893	+54
減価償却費	380	386	511	+125
営業利益	482	452	382	-71
営業利益ROIC	9.7%	9.3%	6.4%	-2.9%



*「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出

◆ 連結損益計算書 四半期推移

	19年度				20年度				21年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	2,146	2,214	2,114	2,063	1,791	2,150	2,156	2,268	2,259	2,275	2,336
売上原価	1,470	1,534	1,461	1,438	1,194	1,484	1,522	1,614	1,550	1,587	1,699
売上総利益	677	680	653	624	597	666	634	653	709	688	638
販管費	507	512	509	544	471	481	492	556	536	546	571
営業利益	170	168	145	80	126	185	142	97	173	142	67
営業外損益	-1	-6	-1	-11	-1	-7	-15	11	12	-0	20
（内 金融収支）	-1	-5	-4	-4	-1	-3	-2	-2	-2	-5	-4
（内 持分法投資損益）	4	7	2	8	2	12	5	7	15	14	14
経常利益	169	162	144	69	124	178	126	108	184	142	87
特別損益	-18	-23	6	-93	-14	-11	33	-451	-19	34	8
税金等調整前四半期純利益	151	139	150	-24	110	167	160	-343	165	176	94
法人税等	40	37	47	21	48	57	44	-13	61	51	45
非支配株主に帰属する 四半期純利益	3	5	5	4	5	7	7	5	7	7	7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	108	97	97	-49	57	103	108	-335	98	118	43

(億円)

◆ 連結貸借対照表 四半期推移

	19年度				20年度				21年度		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産											
流動資産	5,116	5,255	5,280	5,053	5,026	5,131	5,074	5,346	5,389	5,517	5,537
固定資産	4,910	5,052	5,139	4,989	5,024	5,055	5,133	5,066	6,461	6,171	6,220
合計	10,026	10,307	10,419	10,042	10,049	10,185	10,207	10,411	11,850	11,688	11,757
負債・純資産											
負債	5,860	6,103	6,065	5,928	5,880	5,837	5,744	6,108	7,439	7,182	7,209
(内 有利子負債)	3,743	4,076	3,982	3,819	3,914	3,873	3,628	3,800	5,029	4,828	4,729
純資産	4,166	4,204	4,354	4,114	4,169	4,348	4,463	4,304	4,411	4,506	4,548
合計	10,026	10,307	10,419	10,042	10,049	10,185	10,207	10,411	11,850	11,688	11,757

(億円)

◆ セグメント別 売上高・営業利益 四半期推移

(億円)

	19年度					20年度					21年度見通し				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
売上高															
高機能材料	633	624	556	550	2,364	438	476	544	647	2,104	693	703	663	690	2,750
複合成形材料	228	231	229	224	912	101	248	252	264	866	264	248	274	364	1,150
マテリアル 計	861	854	786	774	3,275	539	724	796	910	2,970	958	950	937	1,055	3,900
ヘルスケア	398	391	403	347	1,539	362	369	388	368	1,487	459	449	488	454	1,850
繊維・製品	738	804	772	749	3,063	716	865	790	778	3,149	655	680	734	731	2,800
IT	109	122	112	143	486	135	150	137	158	581	135	137	126	151	550
その他	40	42	41	50	174	39	42	45	53	178	52	58	51	38	200
合計	2,146	2,214	2,114	2,063	8,537	1,791	2,150	2,156	2,268	8,365	2,259	2,275	2,336	2,430	9,300
営業利益															
マテリアル	56	46	29	28	158	-14	9	2	13	10	21	12	-81	28	-20
ヘルスケア	105	89	97	34	326	87	78	93	57	315	132	108	135	71	445
繊維・製品	10	18	14	12	54	51	76	36	12	175	20	16	9	15	60
IT	13	23	19	23	78	20	27	21	35	104	21	27	21	27	95
その他	-0	3	-1	2	3	-4	1	2	-1	-2	-3	-6	-3	-7	-20
消去又は全社	-14	-11	-13	-19	-58	-14	-6	-13	-19	-52	-19	-13	-14	-14	-60
合計	170	168	145	80	562	126	185	142	97	549	173	142	67	118	500

◆ セグメント別 売上高・営業利益 [前年度対比]

(億円)

	20年度実績			21年度見通し			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高									
高機能材料	914	1,191	2,104	1,396	1,354	2,750	+483	+163	+646
複合成形材料	350	516	866	512	638	1,150	+162	+122	+284
マテリアル 計	1,263	1,706	2,970	1,908	1,992	3,900	+645	+285	+930
ヘルスケア	730	756	1,487	907	943	1,850	+177	+186	+363
繊維・製品	1,581	1,568	3,149	1,335	1,465	2,800	-246	-103	-349
IT	286	296	581	273	277	550	-13	-18	-31
その他	81	97	178	110	90	200	+29	-8	+22
合計	3,941	4,424	8,365	4,534	4,766	9,300	+592	+342	+935
営業利益									
マテリアル	-5	15	10	33	-53	-20	+38	-68	-30
ヘルスケア	165	150	315	240	205	445	+75	+55	+130
繊維・製品	127	48	175	36	24	60	-91	-24	-115
IT	48	56	104	48	47	95	+0	-9	-9
その他	-3	1	-2	-10	-10	-20	-6	-12	-18
消去又は全社	-20	-32	-52	-32	-28	-60	-12	+4	-8
合計	311	238	549	315	185	500	+4	-53	-49

◆ セグメント別経営指標 [前年度対比 及び 前回見通し*対比] (億円)

	20年度 実績	21年度 見通し	差異	21年度 前回見通し*	前回見通し との差異
EBITDA^{*1}					
マテリアル	315	305	-10	405	-100
ヘルスケア	437	720	+283	695	+25
繊維・製品	239	125	-114	145	-20
IT	113	110	-3	115	-5
その他	7	0	-7	0	0
消去又は全社	-43	-60	-17	-60	0
合計	1,068	1,200	+132	1,300	-100
営業利益ROIC^{*2}					
マテリアル	0%	-1%	-1%	3%	-4%
ヘルスケア	41%	20% ^{*3}	-21%	19% ^{*3}	+1%
繊維・製品	14%	5%	-9%	6%	-1%
IT	66%	65%	-1%	67%	-2%
合計	8.6%	6%^{*3}	-3%	7%^{*3}	-1%

*1 「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出

2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出

（*投下資本＝純資産＋有利子負債－現金及び預金）

*3 期首の投下資本は糖尿病薬販売権等承継による増加を含めて算出

◆ 主要経営指標推移

	16年度 実績	17年度 実績 ^{*7}	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度 見通し
ROE ^{*1}	15.7%	12.5%	11.2%	6.3%	-1.7%	8%
営業利益ROIC ^{*2}	10.0%	11.2%	9.3%	8.7%	8.6%	6% ^{*8}
EBITDA ^{*3} (億円)	958	1,155	1,076	1,072	1,068	1,200
1株当たり当期純利益 (円) ^{*4}	254.9	231.3	232.4	131.6	-34.7	166.6
1株当たり配当金 (円) ^{*4}	55	60	70 [*]	60	50	55
*100周年記念配当 10円/株を含む						
総資産 (億円)	9,641	9,820	10,207	10,042	10,411	11,700
有利子負債 (億円)	3,762	3,442	3,692	3,819	3,800	4,900
D/Eレシオ ^{*5}	1.11	0.88	0.90	0.97	0.94	1.1
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*6}	-	-	-	-	-	1.0
自己資本比率	35.1%	40.0%	40.2%	39.3%	39.0%	37%

*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本^{}」にて算出 (*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

*3 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

*4 株式併合による株数の変化を反映したベースで記載

*5 「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

*6 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

*7 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を18年度から適用しており、17年度実績については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載

*8 期首の投下資本は糖尿病薬販売権等承継による増加を含めて算出

◆ 主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	20年度					21年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q
フェブリク®	高尿酸血症・痛風治療剤	87	89	96	83	356	96	97	106	299
ネシーナ®	2型糖尿病治療剤	-	-	-	-	-	36	33	35	104
イニシク®	2型糖尿病治療剤	-	-	-	-	-	21	20	21	62
ボナロン®*1	骨粗鬆症治療剤	21	21	23	18	83	20	20	21	61
ソマチュリン®*2	先端巨大症及び下垂体性巨人症、 胼・神経内分泌腫瘍治療剤	13	13	14	12	52	13	13	15	42
ベニロン®	重症感染症治療剤	14	12	14	10	50	12	12	13	37
リオベル®	2型糖尿病治療剤	-	-	-	-	-	12	10	11	33
ザファテック®	2型糖尿病治療剤	-	-	-	-	-	7	6	7	20
ムコソルバン®	去痰剤	6	5	7	5	22	5	5	7	18
ロコア®	経皮吸収型鎮痛消炎剤	5	6	5	5	21	5	5	6	16
ワンアルファ®	骨粗鬆症治療剤	3	3	3	2	10	2	3	4	9
ゼオマイン®	上下肢痙縮治療剤	-	-	0.1	0.3	0.4	0.5	2	4	6

*1 ボナロン®/Bonalon® はNV Organon(蘭)の登録商標です。

*2 ソマチュリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma (仏)の登録商標です。

◆ 非財務情報 ESG外部評価

GPIFの4つのESG指数全ての構成銘柄に採用されています

FTSE Blossom
Japan2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

(注) MSCIインデックスへの帝人株式会社の組み入れおよび帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

日経SDGs経営調査で総合ランキング35位の高い評価を得ています

NIKKEI
SDGs
経営調査 2021 ★★★★★

- 4分野全てにおいて「S以上」の高評価
- 「ガバナンス」は全業界の中で偏差値70以上の上位10社に

ESGへの取り組みが優れている企業として、2つの国内プログラムに選定されています

「なでしこ」女性活躍推進

健康経営推進



SRI（社会的責任投資）インデックスへ組み入れられています

Member of
Dow Jones
Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions